

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行 NO. 1964	
日 時 2022年1月15日(土) 無風・晴れ	
山 域 富士山(山岳スキー)	
コース 洞門8:10ー上塚コル10:15～一本目滑降～下塚下一昼食一下塚頂上11:59～二本目滑降 ～下塚下一上塚中腹～三本目滑降～二合目まで滑降ー洞門14:10	
標高差 上り 洞門1290m～上塚コル1880m=590m+400m+300(累計標高差=約1290m)	
藪漕度 なし	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
<b>ギャラリーに、ほだされて、三本滑降</b>	
参加者 後藤、井上=2名	

先日、富士山に待望の雪が降った。ハイキングの予定もあったが、参加者が少ないので、山岳スキーに変更した。周遊道の雪は少なかった。洞門駐車場はイッパイ。少し上に置いた。

スキーは背負って行く。ピッケル・シール・スキーアイゼンは、軽量化で置いていく。ちなみにスキー板は4.5kg、靴3kg、アイゼン1kg。ただ、アイゼンは必携。下部は暑くて汗が吹く。二合目駐車場から雪があった。ここでアイゼンを履いた。



駐車場

雪というより、氷なので歩き易い。降った雪は、飛ばされたようだ。吹き溜まりには、いいパウダーがあった。天気は良かった。風もない。登山者は居なかった。滑降適地を探りながら上る。

約2時間で上塚・下塚コルに着いた。いつもなら幕岩に一本滑るが、黒雲が急に湧いてイヤな感じ。ホワイト・アウトを避けて、上りし方向に一本滑った。半年ぶりのスキー。最初は、ギコチない。

次第に調子を上げ、下塚下着。雪は雪というより、殆ど氷。でも、ギリギリエッジは立つ。誰も居ない雄大な富士にシュプールを刻む。う～ん、やっぱりスキーは素晴らしい。ただ、快晴でないので雪面がハッキリせず、イマイチ突っ込めなかった。



滑降・1

11時で空腹を感じたので昼食。今日は、二人で実に静かな食事。安全第一でビアはやらなかった。相方はやってみたい。30分休んで午後の開始。

お腹が膨らんだら上りは厳しい。今度は、下塚に上る。ここは急で滑り易い。相方はビアの性で上りは苦しそう。上塚コルから頂を目指す。頭上に何処かのツアーだろうか、15~6人、ゾロゾロと三辻方面に向かった。上塚は行かないようだ。

山頂下から滑降。今度は、上から写真を撮りたいので、相方に先に行って貰う。雪はカチカチだ



ツアーの方

が、案外、滑りやすい。モナカよりマシだ。快適に下塚を滑降。下からカップルの登山者が二人来た。登山者の脇まで滑る。「気持ちよさそうですね〜」「凄いですね〜」「どうやって上るんですか」と質問が飛ぶ。ギャラリーが居た訳でもないが、下まで滑ってもう一本挑む。



## 滑降・2

上塚を目指した。ただ、上塚は上部に雪がない。途中で終わりにして滑降する。谷を越え、左の大斜面を滑る。傾斜が緩く滑りやすい。相方の動画を撮った。今まで動画は余り撮ったことはない。





滑降・3

帰って編集した。パソコンで観れるが、スマホではダメだった。なかなか、難しい。絵はサイコーに良かった。台地をこなし、二合駐車場脇まで滑った。大満足。初スキーにしては上出来だった。後はスキーを背負って、ブラブラ、洞門まで歩いた。何処かのオジサンが一人でソリを持って山に向かった。何に～、えええ～だった。

